安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意)
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制　**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。**

分解禁止　**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止　**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制　**電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止　**電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。**
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制　**電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**
さわってけがをする恐れがあります。

強制　**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

禁止　**濡れた手で本製品に触れないでください。**
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く　**煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止　**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く　**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止　**USBケーブル、IEEE1394ケーブルは、本製品付属のものまたは弊社製のものをご使用ください。**
本製品付属または弊社製以外のUSBケーブル、IEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧の端子や極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

禁止　**本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しています。筐体表面が熱くなりますが異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。**
- 本製品を積み重ねないでください。
- 本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
- 本製品に布などをかぶせないでください。

強制　**本製品の使用中および使用直後は筐体表面が熱くなっています。本製品に触れるときは電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業をすることをおすすめします。**

⚠ 注意

禁止　**ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータ格納機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。**
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

禁止　**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止　**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制　**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**

強制　**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　**各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**本製品の上に物を置かないでください。**
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止　**通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**
故障の原因となります。

禁止　**Diskランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。**

禁止　**ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。**
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　**電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。**
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

禁止　**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止　**本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。**

強制　**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

2008年6月17日　第5版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35004866　ver.05　5-01　C10-012

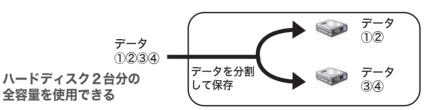
HD-WIU2/R1シリーズ マニュアル　はじめにお読みください

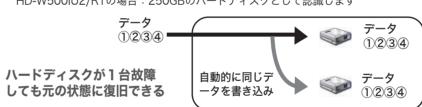
このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1　構築するRAIDを決める
(Windows Vista/XP/2000/Server 2003、Mac OS X 10.2.8以降のみ)

RAID(レイド)とは、複数のハードディスクを組み合わせて1台のハードディスクに見立て、大容量ハードディスクとして使用したり、故障時の復旧を容易にしたりするシステムです。本製品は、2台のハードディスクでRAIDを構築できます。ハードディスクの組み合わせかたにより、RAIDレベルが決められています。本製品が対応しているRAIDレベルは、次のとおりです。本製品をパソコンに接続する前に、どのRAIDを構築するか（または構築しないか）を決めてください。

■スパニングモード（大容量ハードディスクとして使用する）
2台のハードディスクを1台の大容量ハードディスクとして使う方法です。OSからは2台のハードディスクの容量を足した1台の大容量ハードディスクとして認識されます。スパニングモードでは、データを保護するしくみがありません。そのため、ハードディスクが1台でも故障したら、すべてのデータが読み出せなくなります。

●ハードディスクの構成例
HD-W500IU2/R1の場合：500(250+250）GBのハードディスクとして認識します

■RAID1モード（ミラーリング/データを安全に保存したい）
2台のハードディスクに同じ内容のデータを書き込むことにより、データを保護します。一方のハードディスクが故障しても、もう一方のハードディスクにあるデータを読み出すことができるため、そのまま使い続けることができます。また、故障したハードディスクを新しいハードディスクに交換すれば、元のRAID1の構成に戻すことができます。OS上からは、1台のハードディスクの容量しか認識されません。ハードディスクへのアクセス速度は、1台だけ使っている場合とほぼ同じです。

●ハードディスクの構成例
HD-W500IU2/R1の場合：250GBのハードディスクとして認識します

■通常モード（RAIDを構築しない）
RAIDを構築しない（出荷時の状態）で使用します。本製品は２台のハードディスクとして認識され、それぞれに違うデータを保存できます。

●ハードディスクの構成例
HD-W500IU2/R1の場合：250GBのハードディスクを２台認識します

重要
RAIDを構築するときの注意
- RAIDを設定する時は、本製品一台のみを接続し、他のUSB機器やIEEE1394機器は全て取り外しください。
- RAIDを設定すると、本製品に保存されていたデータが全て消去されます。RAIDの設定を行う前にバックアップを作成してください。
- Mac OS X 10.2.8以降をお使いの場合は、本製品をIEEE1394で接続してください。USBで接続した場合、RAIDを構築できません。

右上へつづく

ステップ2　パソコンに接続してユーティリティをインストールする

Windows

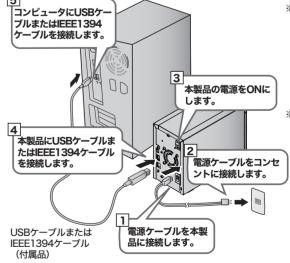
本製品はまだ接続しないでください。本製品は手順4で接続します。
接続してしまい、「次の新しいドライバを検索しています(以下略)が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして作業を続けてください。

1. パソコンに接続している周辺機器(本製品を除く)の電源スイッチをすべてONにします。その後、パソコンの電源スイッチをONにします。
   ※起動中のアプリケーションを全て終了します。
   ※画面の色数は[High Color(16ビット)]以上に設定してください。256色以下では正しく表示されません。
2. ユーティリティCDをパソコンにセットします。
   ※Windows　Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら[DriveNavi.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら[続行]をクリックします。
   ※DriveNavigatorが起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。
   ※パソコンにDVD/CDドライブがない場合は、弊社ホームページ（buffalo.jp）からセットアップ用ユーティリティをダウンロードできます。
3. [かんたんスタート]をクリックします。
4. 以降は画面の指示にしたがって本製品を取り付け、セットアップを行ってください。
   ※Windows Vista/XP/2000/Server2003では、セットアップ中にRAIDモードの変更を選択した場合、RAID設定ユーティリティが起動します。RAID変更手順は、うら面「RAIDを構築する」をご参照ください。
   ※Windows Vista/XP/2000/Server2003では、セットアップ中に表示される画面の指示にしたがってNTFS形式にフォーマットすることをおすすめします。
   ※「次の新しいドライバを検索しています （以下略）」 というメッセージが表示されたときは、［キャンセル］ をクリックして作業を続行してください。再起動後に、自動的にドライバがインストールされます。

以上で接続とユーティリティのインストールは完了です。

Windows Me/98SE/98をお使いの場合、およびRAIDを構築しない場合は、ステップ4へ進んでください。
ステップ3は、RAIDを構築するための手順です。RAIDを構築しない場合は必要ありません。

Mac OS

1. 周辺機器（本製品を除く）→コンピュータの順に電源スイッチをONにします。
2. 本製品の電源をONにし、コンピュータに接続します。

※本製品を接続すると「セットしたディスクにMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています」という内容の警告メッセージ（日本語と英語、または日本語のみ）が表示されることがあります。日本語のメッセージでは［キャンセル］、英語のメッセージでは［Cancel］をクリックしてください。

※**Mac OS 9.1～9.2.2をお使いの場合は、IEEE1394で接続することをお勧めします。**
本製品は2台のハードディスクを内蔵しております。**USBで接続した場合、ハードディスクが１つしか認識されず、本製品全体の容量の半分しか使用することができません。**また、USB1.1の転送速度となりますので、最大12Mbps(理論値)の速度でしか転送できません。
IEEE1394で接続すれば、ハードディスクが２つ認識され、本製品の全容量を使用できます。また、転送速度も最大400Mbps(理論値)となります。

Mac OS 9.1～9.2.2をお使いの場合、およびRAIDを構築しない場合は、ステップ4へ進んでください。
手順3、およびステップ3は、RAIDを構築するための手順です。RAIDを構築しない場合は必要ありません。

3. Mac OS X 10.2.8以降では、ユーティリティCDの[Mac]フォルダ（Intel社製CPU搭載Macintoshをお使いの場合は、［MacIntel］フォルダ）にある「RaidSetting.dmg」をダブルクリックします。
   デスクトップに追加された（RaidSetting）のなかのファイルを全てデスクトップにコピーします。コピーが完了したら、（RaidSetting）をゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

以上で接続とユーティリティのインストールは完了です。

ステップ3 RAIDを構築する
(Windows Vista/XP/2000/Server 2003、Mac OS X 10.2.8以降のみ)

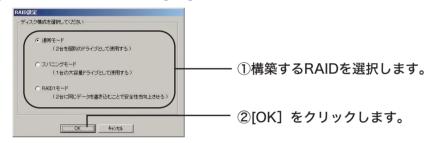
注 意

- RAIDを構築すると、本製品に記録されたデータは全て消去されます。事前にバックアップを作成してください。
- Mac OS X 10.2.8以降でRAID1モードやスパニングモードを使用している場合は、いったん通常モードにしてハードディスクを1台づつ初期化する必要があります。
  ハードディスクを1台づつ初期化しないと、モードを変更したときにリビルドが始まることがあります。リビルドが始まったときは、リビルドが終了するまでお待ちください。リビルドが終了してからMac OS拡張形式で初期化すれば、通常通り使用できます。
- AUTO電源機能切替スイッチを「MANUAL」（出荷時設定）に設定してください。「AUTO」の場合、RAID構築中に本製品の電源がOFFになり、RAIDを構築できないことがあります。
- 以下の手順は、Windows2000の画面を例に説明しています。画面は、お使いのOSによって異なることがあります。

1. RAID設定ユーティリティを起動します。
   Windowsの場合は、[スタート]－[（すべての）プログラム]－[BUFFALO]－[HD-WIU2]－[RAID設定ユーティリティ]を選択します。
   Mac OSをお使いの場合は、デスクトップにコピーした「RaidSetting」をダブルクリックします。
2. [RAID設定]をクリックし、[ディスク構成の変更]をクリックします。

[RAID設定]－[ディスク構成の変更]を選択します。

3. 構築するRAIDを選択し、[OK]をクリックしてください。

①構築するRAIDを選択します。
②[OK]をクリックします。

4. 「ディスク構成を変更すると、ディスク内のデータは消去されます。よろしいですか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。
5. 「変更先ドライブの中のデータを再度確認してください。変更してよろしいですか？」と表されたら、[はい]をクリックします。
   RAIDの構築が始まります。
6. 「RAID構成を変更しました。」と表されたら、[OK]または[了解]をクリックします。

以上でRAIDの構築は完了です。

ステップ4 正しく動作しているか確認する

本製品が正常に動作しているか確認します。
以下の手順で、本製品が正常に動作しているか確認してください。

■Windows Vista/XP/Server 2003
[スタート]－[マイ コンピュータ（コンピュータ）]の順にクリックします。「ハードディスクドライブ」にアイコン（ HD-WIU2）またはアイコン（ HD-WIU2）が追加されていることを確認してください。

■Windows 2000/Me/98SE/98
デスクトップの[マイ コンピュータ]をダブルクリックします。マイ コンピュータにアイコン（ HD-WIU2）が追加されていることを確認してください。

■Mac OS
デスクトップに本製品のアイコン（ ）が追加されていることを確認してください。追加されていない場合は、本製品の電源をOFFにした後、再度ONにしてください。
確認後、本製品をMac OS拡張形式で初期化してください。

注 意

Windows Me/98SE/98、Mac OS 9.1～9.2.2をお使いの場合、およびRAIDを設定していない場合や通常モードに設定した場合、本製品のアイコンが2つ追加されます。

重 要

Windows Vista/XP/2000/Server2003をお使いの方へ
本製品をNTFS形式でフォーマットすることをお勧めします（Windows Server 2003の場合は、必ずフォーマットしてください）。本製品は、FAT32形式でフォーマットされていますのでそのままお使いになれますが、4GB以上のファイルを保存することができません。右上に記載の「DVD作成やキャプチャを行う方へ」の手順で、本製品をNTFS形式でフォーマットすれば、4GB以上のファイルも保存できるようになります。
Mac OSをお使いの方へ
必ず本製品をMac OS拡張形式で初期化してください。そのままご使用になった場合、ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
初期化の方法は、付属のCDに収録されている「画面で見るマニュアル」を参照してください。
※Mac OS 9.1～9.2.2でUSB接続した方へ
本製品のアイコン（ ）が1つしか追加されません。 そのままご使用になった場合、本製品全体の半分の容量しか使用できません（例：HD-W800IU2/R1の場合、400GBしか使用できません）。IEEE1394で接続しなおすと、アイコンが2つ認識され本製品の全容量を使用できるようになります。

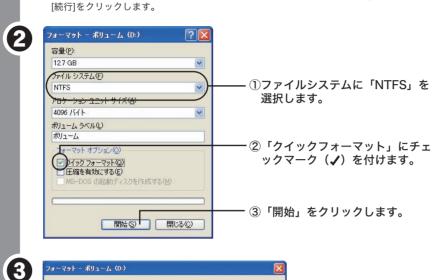
DVD作成やキャプチャを行う方へ
(Windows Vista/XP/2000/Server 2003のみ)

Windows Vista/XP/2000/Server 2003をお使いの場合、**NTFS形式でフォーマットすることをお勧めします。**そのままお使いになることもできますが、4GB以上のファイルを保存できません。NTFS形式でフォーマットすると、4GB以上のファイルも保存できるようになります。本製品のアイコンが2つ認識されている場合は、2つともフォーマットを行ってください。

※フォーマットするディスクのデータは消去されます。

※以下はWindowsXPの画面を使って説明しています。お使いのOSによって画面が異なることがあります。

1. マイコンピュータ（Windows Vistaの場合はコンピュータ）にある本製品のアイコンを右クリックし、フォーマットを選択します。
   ※Windows Vistaをお使いの場合、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら[続行]をクリックします。
2.

①ファイルシステムに「NTFS」を選択します。
②「クイックフォーマット」にチェックマーク（✓）を付けます。
③「開始」をクリックします。

3. 「OK」をクリックします。
4. 「フォーマットが完了しました。」と表されたら、[OK]をクリックします。

以上でフォーマットは完了です。

- 本製品が正常に認識されない場合は、以下のことを確認してください。
  - ・本製品の電源はONになっているか。
  - ・USBケーブルやIEEE1394ケーブル、電源ケーブルは正しく接続されているか。
  - ・別のポートで認識するか確認してください。
- 本製品をパソコンから取り外すときは、画面で見るマニュアルの「本製品の取り外し」に記載の手順で行ってください。

RAID1モードでの復旧（リビルド）方法
(Windows Vista/XP/2000/Server 2003、Mac OS X 10.2.8以降のみ)

RAID1モードでお使いの場合、本製品に内蔵されたハードディスクが1台故障しても元の状態に復旧（リビルド）することができます。
元の状態に復旧するときは、以下の手順を行ってください。

注 意

- ハードディスクの交換は、画面で見るマニュアルの「メンテナンス」の「ハードディスクの交換」で手順でおこなってください。また、画面で見るマニュアルに記載されている注意を必ずお守りください。
- 交換するハードディスクは、弊社製HD-HFBS2/3Gシリーズをお使いください。また、故障したハードディスクと同じまたはそれ以上の容量のものを使用してください。
- AUTO電源切替スイッチを「MANUAL」（出荷時設定）にしてください。「AUTO」にしていると、本製品の電源スイッチをONにしても復旧が行われません。
- データの復旧には、100GBあたり2～3時間かかります。例えば、HD-W500IU2/R1の場合だと、10～15時間かかります。
- スパニングモードや通常モードでお使いの場合はデータを復旧できません。
  スパニングモードや通常モードでは、データを復旧することができません。スパニングモードの場合、1台でもハードディスクが故障すると本製品全てのデータが読み出せなくなります。通常モードの場合は、故障したハードディスクのデータが読み出せなくなります。

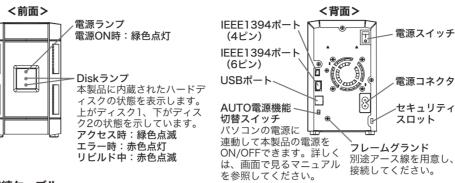
1. ハードディスクを交換します。
   画面で見るマニュアルの「メンテナンス」の「ハードディスクの交換」を参照して交換してください。
2. パソコンに接続していないことを確認し、本製品の電源をONにします。
   Diskランプが赤色に点滅し、RAIDの再構築が始まります。Diskランプが消灯するまでお待ちください。
3. Diskランプが消灯したら、本製品をパソコンに接続します。
   本製品が認識され、元と同じ状態で使用できます。

以上で完了です。

全OS共通の情報

パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

□ハードディスク(本製品)............... 1台

□接続ケーブル

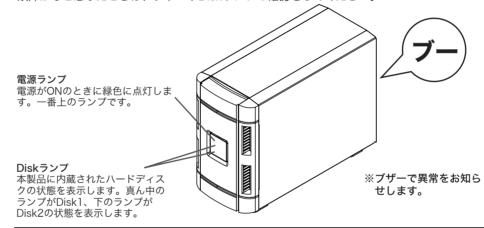
種類	コネクタ形状	数量
USBケーブル（1m）		1
IEEE1394ケーブル（6ピン←→4ピン、400Mbps、1m）		1

□電源ケーブル................................ 1本
□ユーティリティCD...................... 1枚
✓はじめにお読みください（本紙）................. 1枚
□SecureLock +Guradで暗号化しよう.... 1枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

故障かなと思ったら(ランプ・ブザーの確認)

本製品には、異常が発生した場合にブザーやDiskランプで状態を表示する機能があります。故障かなと思ったときは、ブザーやDiskランプの確認をしてください。

Diskランプの状態	ブザー音	本製品の状態
－	ブー・ブー・ブー（繰り返し鳴る）	背面のファンが停止しています。本製品の電源をOFFにして、ファンにほこりがたまっていないか確認してください。ほこりを取り除いても解決しない場合は、ファンが故障している可能性があります。弊社サポートセンターへご連絡ください。
－	ブーーー（連続して鳴り続ける）	ハードディスクが非常に高温となっています。背面のファンが回転しているか確認してください。 ファンが回転していない場合は、本製品の電源をOFFにして、ファンにほこりがたまっていないか確認してください。ほこりを取り除いても解決しない場合は、ファンが故障している可能性があります。弊社サポートセンターへご連絡ください。 ファンが回転している場合は、ハードディスクが故障している可能性があります。Diskランプを確認し、ハードディスクの状態を確認してください。
Disk1またはDisk2が赤色点灯	ブー（約3秒鳴って停止）	点灯したランプのハードディスクに異常があります。本製品内蔵のハードディスクを交換してください。交換しても解決しない場合は、ハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
Disk1またはDisk2が赤色点滅	－	リビルド（元の状態へ復旧）中です。RAID1モードでハードディスクを交換した場合にこの状態となります。絶対に電源をOFFにしないでください。本製品内部でデータの移動を行っています。電源をOFFにすると、本製品が故障したり、データが破損・消失する恐れがあります。リビルド中でもパソコンに接続して使用できますが、データ転送速度が遅くなります。 リビルドの時間は、100GBあたり2～3時間かかります（本製品をパソコンに接続していない場合の目安です。例：HD-W500IU2/R1の場合、10～15時間）。
Disk1とDisk2がどちらも赤色点灯	－	交換したハードディスクが交換前のハードディスクよりも容量が少ないときの状態です。RAID1モードで使用していた場合であってもリビルドは始まりません。交換したハードディスクの容量を確認してください。

注 意

ハードディスクを交換される方へ

- ハードディスクの交換は、画面で見るマニュアルの「メンテナンス」の「ハードディスクの交換」の手順でおこなってください。また、画面で見るマニュアルに記載されている注意を必ずお守りください。
- 交換するハードディスクには、弊社製HD-HFBS2/3Gシリーズをお使いください。また、故障したハードディスクと同じまたはそれ以上の容量のものを使用してください。
  例：HD-W500IU2/R1の場合、HD-H250FBS2/3G（250GB）をお使いください。

付属ソフトについて（Windowsのみ）

△注意 Windows Server 2003やMacintoshをお使いの場合、付属ソフトを使用できません。付属ソフトは、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98用です。

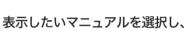
本製品にはWindows Vista/XP/2000/Me/98SE/98用の便利なソフトが付属しています。ソフトの詳細は「付属ソフトの概要/お問合せ」を参照してください。「付属ソフトの概要/お問合せ」は、「画面で見るマニュアルについて」の手順で表示できます。
ソフトによっては、インストール時にプロダクトキーが必要となります。プロダクトキーは、ユーティリティCDに記載されていますので、ソフトのインストールを行う前に以下のスペースに記載してください。

プロダクトキー記入欄
ユーティリティCDに記載されているプロダクトキーをここに書き写してください。

画面で見るマニュアルについて

画面で見るマニュアルには、本製品の取り外しかたやQ&A、付属ソフトの概要など本紙に記載されていないことが記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の手順で表示できます。

■Windows

1. ユーティリティCDをパソコンにセットします。
   ※DriveNavigatorが起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。
   ※Windows Vistaの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合は、[続行]をクリックしてください。
2. [マニュアルを読む] をクリックします。

3. 表示したいマニュアルを選択し、[開始]をクリックします。
   ※画面で見るマニュアル（PDFファイル）を読むには、Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります。
   Acrobat Reader、Adobe Readerは、DriveNavigatorの[マニュアルを読む]からインストールできます。
   ※Windows 2000をお使いの場合、Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。(Adobe Reader)
   ※Acrobat Reader、Adobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。
   ※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

■Mac OS
ユーティリティCD内、[Mac]フォルダに収録されています。
※マニュアルを読むには、Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります。Acrobat Readerは、以下の手順でインストールできます。
①ユーティリティCDの「Mac」フォルダにある「Acrobat.hqx」をダブルクリックします。
②展開した場所に作成される「Acrobat Reader Installer」をダブルクリックします。
※Acrobat Reader、Adobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。
※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

注意
本製品の紛失・盗難等には十分ご注意ください
本製品の紛失・盗難・横領・詐取等により、第三者に個人情報が漏えいする恐れがあります。個人情報が第三者に漏えいしたために損害が生じた場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

バックアップをお勧めします
万が一、本製品が故障したときに備え、バックアップを作成することをお勧めします。バックアップとは、他のハードディスクなどに本製品のデータをコピーしておくことです。詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。
なお、本製品をRAID1モードでお使いの場合は、本製品内蔵のハードディスクが1台故障してもデータを復旧できますが、2台同時に故障した場合はデータを復旧できません。そのため、大切なデータは、RAID 1 でお使いの場合であっても他のハードディスクなどにバックアップを作成することをお勧めします。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意
「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、 お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
付属のAcronis DriveCleanserを使用してデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。